

三条市合併20周年記念

三 條 薪 芸 能 祭

5/17(土)
午後 6:00 《開場》 5:30
8:00

職人が手道具で作上げた特設舞台、三条市の木 五葉松を背景に、アウトドアギアの焚火台の演出で、三条の伝統芸能と日本の伝統芸能の狂言をお楽しみください。

演目

三小相承会

三条太鼓総打ち

本成寺鬼踊り奉讃会

鬼踊り

狂言

魚説法

木場神楽

悪魔祓い

狂言

三本柱

狂言と三条芸能編

会場

まちやまグラウンドひろば

参加費

イス席券 500円 先着300席 立ち見無料

販売：5/1(木)～ 中央公民館

雨天時

会場 三条別院、入場は有料(先着400名・無料観覧はなし)に変更となります。
ホームページ・SNS・まちやま会場にてお知らせいたします。

問合せ

NPO法人えんがわ 080-9997-3524
(受付時間 9:00～17:00 土日可)

|主催|

ツクル・ド・さんじょう
(NPO法人えんがわ)

|後援|

三条市

|協力|

舞 台
五葉松
焚火台

三条削ろう会
齊藤六左衛門

snow peak headquarters store

三条の伝統芸能



三小相承会

三条太鼓総打ち

三条市の産業人(鍛冶職人、工場経営者、流通商社、)たちが約50数年前に日本舞踊の一流派、花柳流に制作依頼されて仕上がった太鼓です。日本舞踊流派に作曲依頼をしたことで「舞うように叩く太鼓」が仕上がり、まるで鍛冶屋がものづくりをしているがごとくの演奏姿です。こどもの頃に学んだ「ふるさとの太鼓」を伝承していこうと発足した和太鼓団体が三小相承会です。



本成寺鬼踊り奉讃会

鬼踊り

法華宗総本山本成寺の節分行事として行われる本成寺鬼踊りは、室町時代本成寺の僧兵と農民が力を合わせて盗賊を追い払ったという故事にならい、厄祓いの形で節分の豆まき行事として続けられています。本成寺本堂の厳粛な空気の中に響きわたる鬼たちの叫び声と鋸・斧などの金物を持ち大暴れするその姿は迫力満点。最後は鬼に豆を投げつけて退散させ、平和と安全を祈ります。



木場神楽

悪魔祓い

一ノ町木場によって受け継がれてきた獅子神楽で、「悪魔払い」「天狗舞」の2演目があります。いつ頃、どのようにして伝わってきたのかははっきりしません。三条まつりと呼ばれる八幡宮の春季大祭に際して周辺の家々をまわり、玄関先などで舞われてきました。木場の人々の、三条まつりに寄せる心意気を感じさせます。

狂言

魚説法 - うおぜっぽう -

シテ (新発意) 野村眞之介

アド (施主) 河野佑紀

後見 野村万之丞

堂を建立した施主が、堂供養と親の追善のために、住持へ説法を頼もうと寺を訪ねます。しかし住持が留守のため、留守番の新発意(しんぱち・出家して間もない修行中の僧)へ依頼します。

お布施欲しさに引き受けた新発意ですが、実は一度も説法をしたことがありません。子供の頃浜辺に住んでいた新発意は、知っている魚の名前を連ねてごまかすことにしますが…。みごとに魚の名が織り込まれた説法が聞きどころ。

三本柱 -さんぽんのはしら-

シテ (果報者) 野村万蔵

アド (太郎冠者) 野村万之丞

小アド (次郎冠者) 野村拳之介

小アド (三郎冠者) 野村眞之介

後見 河野佑紀

果報者は三人の召使いを呼出し、普請(自宅の新築)のためあらかじめ用意しておいた木を、山から運んで下ろすよう命じます。ただしそれには条件があって、「三本の柱を、三人の者が、二本ずつ持って戻る」ということ。山に到着した召使い達は、この難問を試行錯誤しながら、ようやく問題を解き、囃子物で(謡い舞い)帰ってきます。遠くから聞こえてくる謡に、果報者も浮かれて、三人の者を家へ迎え入れる祝言の曲。実際に舞台で使用される柱は、三条削ろう会により製作されたものを使います。

狂言師

野村 万蔵

狂言方泉流能楽師。1965年生。2005年九世野村万蔵を襲名し野村万蔵家当主となる。2022年文化庁芸術祭大賞(萬狂言)。重要無形文化財総合認定保持者。

狂言師

野村 万之丞

狂言方泉流能楽師。1996年生。初世野村萬(人間国宝)の孫、九世野村万蔵の長男。祖父及び父に師事。2017年六世野村万之丞を襲名。

駐車場のご案内

当日は大変込み合いますので、乗り合わせの上、臨時駐車場も併せてご利用ください

